

伊勢崎市が求める”人財“

「人財」…自治体にとって財宝・財産である職員。

私たちは、“常に学び続けることができる職員”を求めています

伊勢崎市人事人財育成方針では、目指す職員像として、以下の5つの項目を定めていますが、目指す職員像を実現するためには、学ぶ意欲を持ち、自身を高め続ける努力を惜しまないことが肝心です。本市では、「自学」を支援するための取組に力を入れており、学び続けることで成長し、新たな行政課題へ立ち向かっていくことのできる柔軟な職員を求めています。

職員の学びを支援する取組の例

24時間365日視聴可能な動画配信サービスを活用し、職員の成長の手助けをしています。

【躍動】

市民のしあわせを願い、自らの能力を最大限に発揮し、やる気を持って生き生きと働く職員

【情熱】

未来志向で市職員としての使命感、情熱、誇り、圧倒的な当事者意識を持ち合わせている職員

【成長】

仲間とともに、ありたい自分へと成長していくことに喜びを感じ、職場へ還元している職員

【越境】

自分に壁を作らず、考えが凝り固まらず、柔軟であり、新たな見方、アイデアを取り入れ、自ら実践行動している職員

【達成】

スピード感を持ち、限られた資源の中で最少の経費で期待される最大の効果をあげるまでやり抜くタフな職員



伊勢崎市職員採用試験の特徴

①事務職（経験者）向けの採用試験は年3回、技術職（土木・電気・機械・建築）は通年採用を実施



事務職（経験者）について、受験者のニーズやキャリアプランに応じた柔軟な受験を可能とすることを目的とし、年3回実施します。技術職（土木・電気・機械・建築）は1年を通して募集を行う「通年採用」を実施します。

②試験方式にSPI3を導入



受験生の負担軽減と、より多様な人材の確保を目的として、事務職だけでなく、一部の技術職の試験方式に「SPI3」を導入しています。

SPI3…基礎能力と性格に関する適性検査。全国のテストセンターや自宅でも受験可能。

③WEB上で試験申込が完結（市採用ホームページを開設）



パソコンやスマートフォンで申し込みを受け付けするため、申込期間中は24時間受け付け可能で、時間と場所を選びません。また、「書類の提出・郵送」といった手間がなく、遠方にお住まいの方でも申し込みが可能です。

試験日程・採用試験の流れ

試験日程や採用試験の流れについては、市ホームページに掲載しています。詳しくは、以下のリンクまたは右の2次元コードから市ホームページを確認いただくか、直接採用担当窓口までご連絡ください。

【市ホームページ「職員採用情報」URL】

<https://www.city.isesaki.lg.jp/soshiki/somubu/shokuin/shokuin/21331.html>

市ホームページ「職員採用情報」2次元コード



輝いてる？

共に成長し、未来を切り拓く



えがお咲く未来へ 持続可能な共生都市 いせさき



■ とっても元気で、とっても暮らしやすい都市

本市は人口21万人の「とっても元気な都市」です。全国の市町村で人口の減少が見られる中、本市は、継続的に人口が増加している状況です。

大部分が平地で、強い地盤の上に立地し、台風や地震などの自然災害が比較的少ない安心安全なまちです。利便性に優れた幹線道路網を活かして、生産業や大規模商業施設の進出が進み、商工業が盛んな産業地域となっています。

かつては養蚕業が盛んで、世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の構成資産の一つ「田島弥平旧宅」が有名です。近郊農業も盛んで農産物の生産も多く、新鮮な野菜がいつでも手に入れます。

気温は、比較的温暖で、雨の日が少なく、日照時間が長いのが特徴です。

人は義理と人情に厚く、また、気さくで親しみやすい人柄で、転入者の方を友好的に温かく迎え入れている「とっても暮らしやすい都市」です。

伊勢崎市の情報を詳しく
知りたい人はホームページを

CHECK!!



目指す伊勢崎市役所の姿

市民の信頼を得て、しあわせ感じる地域の未来を共に創り出していく元気な伊勢崎市役所



伊勢崎市役所

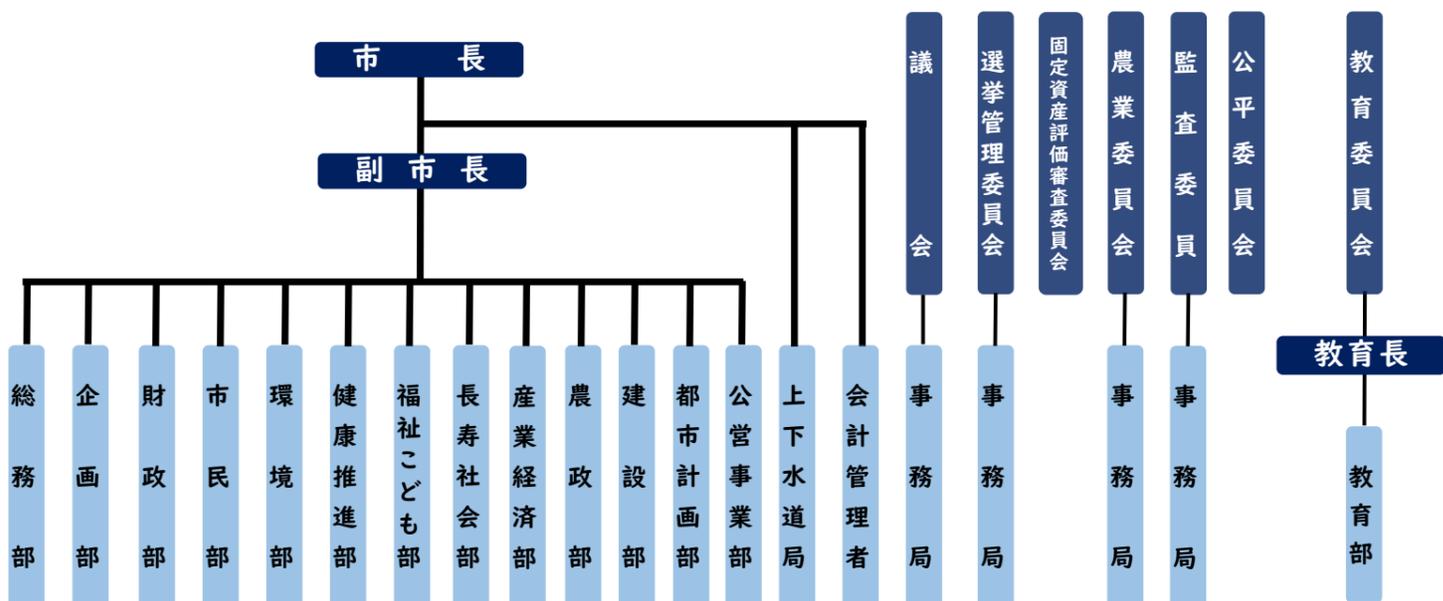
伊勢崎市役所データ

※消防部局・病院部局を除く



伊勢崎市行政機構図

令和6年4月1日現在
※消防部局・病院部局を除く



給与・勤務条件・福利厚生

1 給与

区分	学歴	給料月額
大学卒業程度	大学卒	224,300円
高校卒業程度	高校卒	192,900円

新規採用職員の初任給月額例(2025年4月1日時点)

・採用前に職歴等がある場合は、この金額に一定額を加算。
(参考:2024年)大学卒業程度で入職後10年経過後の平均給料月額282,089円
・このほか、扶養手当、住居手当、通勤手当、時間外勤務手当等が支給されます。
・期末・勤勉手当(ボーナス)は年2回(6月、12月)支給されます。

2 勤務条件

- 勤務時間：月曜日から金曜日までの8時30分から17時15分まで(原則)
※1 所属や業務内容によって勤務日や時間は異なります。
- 休暇制度：①年次有給休暇/1年につき20日 ②夏季休暇/3日 ③その他特別休暇(結婚・忌引・介護・看護等)

3 福利厚生

共済組合加入	健康管理	職員互助会
職員やその家族(被扶養者)の病気・けが・出産・死亡・休業又は災害に対して必要な給付を行うほか、退職後の年金給付、住宅購入や修学時に必要となる資金の貸付等を行っています。	定期健康診断のほか、人間ドックに対する助成、職員を対象にした健康相談、ストレスチェック等を実施しています。	職員で構成され、いせさきまつりや家族ふれあい事業への参加、結婚や出産等の祝金や勤続年数に応じた給付金等が受けられます。

“働きやすい”職場づくりに向けた取組事例

男性育児休業の取得促進



総務部管財課
主査 Y・S
(平成23年度入職)

育児休業取得者へインタビュー

育児休業取得の背景

育児休業取得のきっかけは、長女が生まれた時に業務が多忙で帰宅が遅いことが多かったため、平日は長女と触れ合う機会をあまり作れず、生後10カ月頃の人事異動までは週末以外ほぼ子供の成長を見なかった後悔があったからです。それがとてもショックで育児休業の取得を決意しました。

取得してよかったこと

育児休業取得前に自分が想像していた以上にやるべきことが多くて忙しかったのですが、子供の成長する姿を同じ状況、同じタイミングで妻とともに見守れたことはいい思い出であり、一生の財産になったと思います。

育児休業が取りやすい職場環境です



柔軟な働き方の試行実施

多様で柔軟な働き方に対応するために、在宅勤務(テレワーク)やフレックスタイム制の試行実施をしています。実際に、この職員採用パンフレットは在宅勤務中に作成しています。



軽装勤務の通年実施

温室効果ガス削減のほか、職員が快適で働きやすい職場環境を実現するため、ノーネクタイ・ノージャケット等を可とする軽装勤務を実施しています。

職員研修制度

職員一人ひとりの能力の向上を図り、個性豊かで地域の特色を生かしたまちづくりに貢献できる職員の養成を図っています。

1. 階層別研修	2. 特別研修	3. 派遣研修	4. 自主研修	5. 職場研修
職務や職階に応じた職務遂行上必要な知識・能力の向上を図るため、新規採用から課長級職員まで階層別研修を実施しています。	地方公務員として必要な知識・技能を習得し、実務能力、実践能力の向上を図るため、特別研修を実施しています。	高度かつ専門的な知識・技能を習得し、広い視野に立って将来予測のできる人材を育成するため、県内外の研修に職員を派遣しています。	職員の自己啓発の意欲を尊重し、幅広い知識や技能を習得するため、動画研修及び通信教育の受講を支援しています。	業務の遂行上必要な知識・技能の向上と、職場の問題解決や目標等の情報の共有化を図るため、各職場で研修を実施しています。

伊勢崎市で「働く」ということ

組織を構成する資源で最も大切なものは「人」という考えから、伊勢崎市では職員一人ひとりが、心も体も健康な状態で快活に働けるように、働きがいを感じられる職場づくりを推進しており、職種や職務内容は異なっても、職員は「市民の笑顔のために仕事をやり抜く」という想いをもち日々業務に取り組んでいます。

そんな本市の職員が、実際にどのような仕事に取り組んでいるのか、職種別にインタビューをしました。それぞれの職員の「仕事に懸ける熱い想い」を、是非ご覧ください。

私たちのシゴトを紹介します!!



事務職

いわゆる「行政事務」を行う。業務内容は窓口での市民対応や相談業務、各種イベントの企画・実施、内部管理系の事務など多岐にわたる。配属先は本庁舎以外にも各支所、市内の公共施設など選択肢が多い。



技術職

「土木」「建築」「電気」「機械」など、道路や水道等のインフラ整備や施設管理における技術的な業務に携わる。配属先は建設部、都市計画部、上下水道局や、施設を所管する所属など多岐にわたる。



資格職

「保育士」「保健師」「社会福祉士」など、小さな子どもから高齢者、障がい者など多様な市民に寄り添い必要なサービスを提供する。配属先は健康推進部（健康管理センター）、福祉子ども部（保育所）など。

誰もが輝く地域を目指して

事務職のお仕事

地方公務員の事務職は、地域住民の生活に密接に関わる幅広い業務を担当しています。電話・窓口対応や書類作成、データ管理など、行政サービスの基盤となる事務処理を行います。また、企画立案や予算編成、広報活動など、地域の課題解決に向けた取り組みにも携わります。

事務職の仕事をもっと詳しく知りたい人は

CHECK!!



事務職員 産業経済部文化観光課 主任 M・K(平成31年度入職)



仕事内容・やりがい

私は文化観光課の観光係に所属しており、イベントやお祭りの企画・運営を行っています。イベントやお祭りは屋外での開催が多く天候に左右されるため、中止時の対応や関係団体との調整などの準備がとても大変ですが、来場者の方の楽しんでいる様子を間近で見ることが出来たり、嬉しいお言葉を掛けてもらえたりした時はとても嬉しいです。同時に、伊勢市の活気付けに貢献できているところに、やりがいを感じています。

メッセージ

市役所の仕事は窓口業務や事務作業のイメージが強いと思いますが、私の部署は外での作業も多くあります。また、他の部署より休日出勤が多いですが、平日に振替を取ることができ、年休や夏季休暇などはじめ休暇制度が充実しているため、メリハリのある働き方が出来ると感じています。ワークライフバランスを充実させやすい環境である伊勢崎市で一緒に働いてみませんか？

プライベートの一部を紹介

私は出かけることが好きなので、休日は色々な所に出かけています。今の部署では、平日に振替でのお休みが多く、出かける先がどこも空いているので、特別感があります。



1日のスケジュール(イベントの前日の場合)

8:30 朝礼・スケジュール確認	14:00 備品の買い出し
9:00 事務作業・決裁文書の確認	15:00 係員打合せ
10:00 イベント本部マニュアル等の準備	16:00 荷物の積み込み
12:00 昼食・休憩	17:00 翌日の流れの最終確認
13:00 備品の確認	17:15 終業



事務職員 企画部広報課 主査 Y・K(平成30年度入職)



仕事内容・やりがい

広報課では広報紙、ホームページ、SNSなど、様々な媒体を通しての情報発信業務を行っています。私は広報紙の編集をメインで行っています。毎月決められた時期に発行ができるよう、各課から集まった原稿の編集・校正、誌面の構成、業者とのやり取りなどを行っています。広報紙は32ページという限られた誌面の中で、いかに多くの情報を分かりやすく掲載するかが重要です。パズルのように記事を当てはめていく作業はとても大変ですが、やりがいも感じています。

メッセージ

人生を豊かにするためには、仕事だけでなくプライベートも充実させることが大切です。伊勢崎市役所では、ワークライフバランスを保ちながら、地域に貢献できるやりがいのある仕事を行うことができます。業務の幅がとてひろいため、きっとやりがいも様々な分野で見出すことができます。優しい職員が多く、チームワークを大切にしている職場なので、まずは安心して飛び込んでください！

プライベートの一部を紹介

旅行が好きで、休日を利用して国内の様々なところへ出かけています。年度はじめに業務スケジュールと祝日を把握することがポイントです。



1日のスケジュール

8:30 朝礼・メール等確認	13:00 ホームページ公開手続き
9:00 ホームページ公開手続き	13:30 各課と記事の調整・編集
9:30 広報誌の校正	15:00 印刷業者との打ち合わせ
10:00 係内で広報誌の打合せ	16:30 ホームページ公開手続き
12:00 昼食・休憩	17:15 終業



事務職員 財政部市民税課 主任 A・U(平成30年度入職)



仕事内容・やりがい

私は財政部市民税課に所属し、個人住民税の賦課業務を担当しています。膨大な課税資料に目を通し、法令等を確認しながら税額を計算していくため、細かいチェックや覚えることが多いのが業務の特徴です。税額決定通知書を発送すると、税金の仕組みや計算方法についての問い合わせが多く寄せられますが、ご説明にあたる中で市民の方から「おかげでよくわかりました」といった言葉をいただいた時にはやりがいを感じます。

メッセージ

市役所の仕事は幅広く、異動のたびに新しいことを覚える大変さがありますが、どの業務もめぐりめぐって市民の生活や地域の発展に貢献しているのでやりがいや魅力にあふれています。職員も気さくな方が多く働きやすいですし、プライベートに活かせる知識も身につくので前向きに業務に取り組みます。やりたいことがきっと見えてきますので、伊勢崎市への気持ちがあればぜひ市役所を選んでほしいです。

プライベートの一部を紹介

趣味は食歩きです。気になるお店をチェックしておき、休日に家族や友人と美味しいものを食べに行って気分をリフレッシュしています。定時上がりの日は平日でもお出かけしたり、お店で食べた味を家で再現しようと試みてみると、それを楽しみに日々仕事に励んでいます。



1日のスケジュール

8:30 朝礼・スケジュール確認	14:00 事務作業
9:00 窓口・電話対応	14:00 窓口・電話対応
10:30 賦課入力作業	15:30 賦課入力作業のダブルチェック
12:00 昼食・休憩	17:00 翌日のスケジュール検討
	17:15 終業



地方公務員の技術職は、地域の社会基盤整備や公共施設の維持管理を担う重要な役割を果たしています。住民の生活を支える重要なインフラを整備・維持することで、地域の安全と快適性を高めることができ、最新の技術を活用しながら、創造性を発揮できる仕事でもあります。

技術職の仕事をもっと詳しく知りたい人は
CHECK!!



土木 都市計画部区画整理課 主査 M・O(平成29年度入職)

仕事内容、やりがい

土木職は、道路や上下水道など生活に欠かせないライフラインを作っていく仕事です。市民の皆さんの生活に直結する仕事なので、毎日のように現場確認に行ったり、工事業者と打合せをしたりと、自分自身の目で見て考えて設計、工事発注を行っています。自分が携わった工事がどんどん進んでいく様子を間近で見られるので、達成感ややりがいを感ぜられる楽しい仕事だと思っています。

職場の環境について

入職してみて、思ったよりも女性の技術職の職員がたくさんいるな、と感じました。先輩や同僚からは男性女性関係なくアドバイスも手助けもしてもらえますし、自分自身が成長できる職場だと思います。自治体の仕事ってちょっとお堅いかな、ってイメージは持っていたんですが、雰囲気すごく良くて、たくさんの職員と関わることが毎日刺激になっています。



プライベートの一部を紹介

旅行が趣味なので有給休暇を使って出掛けています。周りの方々の協力もあり、仕事を忘れ心置きなく楽しめています。休みを計画的に取れるのも公務員の魅力だと思います。



1日のスケジュール

8:30 朝礼・スケジュール確認	13:00 設計図書作成・書類確認
9:00 現場確認・立ち合い	16:00 決裁文書の作成・確認
12:00 昼食・休憩	17:00 翌日のスケジュール確認
	17:15 終業

機械

建設部建築課 主査 S・I(平成22年度入職)

仕事内容、やりがい

機械職では、工事を行うにあたっての工事設計と工事監理が主な業務です。例えば、公民館でエアコンが壊れた、浄化槽の更新が必要など、です。現場を調査して必要な作業を確認し、設計を行い、工事を発注。そして施工業者が決まりましたらその工事の監理業務を行っています。工事が終わった後に、市民から「ありがとう」と言われたときや、喜んでる姿を見かけたりするとやりがいを感じます。

自治体の技術職で働こうと思った理由

自分の生まれ育った伊勢崎市に自分の知識を還元したいという気持ちや、様々な施設をたくさん管理していて、なおかつその一つ一つにいろいろな設備が設置されているということに自治体職員として携われるのがおもしろそうだったことがきっかけです。1種類の設備に集中するというよりは様々な設備に触れられるということが一番おもしろそうだと思い、自治体の技術職を選びました。



電気

建設部建築課 主査 Y・K(平成24年度入職)

仕事内容、やりがい

電気職では、機械や設備の配線やブレーカーなどの大きさを考え、設計や工事を発注する仕事をしています。当たり前のことですが、電気がないと機械や設備が動かないので、自分の仕事が他の技術職の仕事にも大きな影響を与えるため、ミスのないように業務を進めるように心がけています。電気設備工事を適切に監理することで、市民の方々が利用しやすい環境を作ることは、とてもやりがいのある仕事だと思います。

自治体の技術職で働こうと思った理由

学生時代から電気科を専攻しており資格の勉強もしていたため、最初は民間でも自治体でも電気関係の仕事につきたい、と漠然と考えていました。一度は民間企業に就職したのですが、転勤などもありワークライフバランスを保つことが難しい部分がありました。そんな中、長期休みで地元に戻ってきて友人と遊びに行ったり地域のイベントに参加したりした時に、やはり地元で働きたいという気持ちが強くなり、自治体への転職を決意しました。

建築

建設部建築課 主査 T・N(平成27年度入職)

仕事内容、やりがい

建築職は、建物の躯体と呼ばれる、鉄骨であったり、鉄筋コンクリート、柱や梁などの設計を行います。また、床や壁の仕上げ材や天井の仕上げなどの内装も含めて考えて設計し、工事を監理する仕事です。やはり自分の設計した建築物が形として残るので、工事が無事に完了したときには大きなやりがいを感じるとともに、ほっとする瞬間でもあります。

メッセージ

建築だけでなく電気や機械、土木に詳しい職員がいて、それに加え法律に詳しい職員、施工に詳しい職員など、それぞれ得意分野を持った職員がいるので、知識や経験を共有することで、自分自身が成長できる職場だと思います。これから入職を目指す方については、いろんな経験を得られる職場だと思いますし、専門職が多い職場でとても明るい職場だと思いますので、ぜひ来ていただければと思います。



土木

建設部道路整備課 主査 H・N(平成27年度入職)

仕事内容、やりがい

道路整備課では、道路改良事業の設計・工事の発注業務、監督業務などを行っています。何もなかった場所に道路が完成していく過程を間近で見ることができ、完成した道路を自分が通る時には、感慨深いものがありますね。自分が整備した道路が、地域住民の方々の生活を支えていると考えると、大きなやりがいを感じることできます。

メッセージ

伊勢崎市では、技術職の仕事内容を体感してもらうためのオンライン説明会などを開催しています。人数によっては実際に市役所に来てもらい現場を案内するなど、実際の業務に触れる機会もあります。まだ、技術職の通年採用を行っているため、興味を持ったタイミングでいつでも応募することが可能です。是非、働く場所の一つとして伊勢崎市を選んでもらえればと思います！



プライベートの一部を紹介

職場のメンバーでマラソンに参加するなど、仕事だけでなくプライベートでも仲良くしています！



1日のスケジュール

8:30 朝礼・メール確認	13:00 工事現場で立ち合い
9:00 窓口・電話対応	14:30 窓口・電話対応
10:00 事務処理	15:30 事務処理
12:00 昼食・休憩	16:30 係打合せ
	17:00 メール確認
	17:15 終業

保育士

資格職のお仕事

保健師

寄り添い、支え合い、一人ひとりの幸せ願う

社会福祉士

地方公務員の資格職は、専門性を活かしながら、市民の生活を支える重要な役割を担っています。

保育士は子どもたちの健やかな成長を支え、保健師は市民の健康づくりを支援し、社会福祉士は高齢者や障がい者の自立を支援します。

保育士

福祉こども部第三保育所 主任 M・A(令和5年度入職)



仕事内容、やりがい

今現在、年長児の担任をしています。運動会では跳び箱や縄跳びに挑戦したり、発表会では難しい合奏やセリフの多い劇に挑戦しました。日々一生懸命練習を重ね、子どもたちの達成感に満ち溢れた表情を見たり、保護者の方からの声を聞くととてもやりがいを感じます。年長になると自分で考えたり、できるようになることも多くなりますが、一人一人の気持ちに寄り添いながら保育をしています。

メッセージ

日々、先輩方から様々なことを学び保育をしています。分からないことがあると丁寧に教えてくださり、休日も保証され働きやすい環境だと実感しています。公立保育所なので本庁勤務の人たちとの関わりもあり、保育士以外の職種の間も沢山できます。いせさきまつりに参加した際には、沢山のひとと関わることができ同期とともに楽しい思い出になりました。ぜひ一緒に働けるのを楽しみにしています。

プライベートの一部を紹介

数年前にゴルフを始めました！スコアはまだですが、コースに出ると気持ちよくなってリフレッシュになります。



1日のスケジュール

8:30 幼児の受け入れ	12:30 片付け・読み聞かせ
9:30 朝の会・朝の用意	13:00 室内・戸外遊び・休憩
10:00 制作・戸外遊び・園外保育	15:00 おやつ・帰りの会
11:30 片付け・昼食準備	16:00 延長保育・事務作業
12:00 給食援助・昼食	17:15 終業

保健師

健康推進部健康管理センター 主任 R・Y(令和5年度入職)



仕事内容、やりがい

私は現在、がん検診の担当をしています。今年度は初めて伊勢崎市でショッピングモールを会場とした子宮頸がん検診を行いました。より多くの人に受診してもらえるよう何度もチラシの案を練り直し、市のSNS等を使用して検診の周知を行いました。その甲斐もあって検診当日は多くの人に受診してもらい、とてもやりがいを感じることができました。今後も多くの人に受診してもらえるような取り組みを考えていきたいと思っています。

メッセージ

保健師は乳幼児健診で子どもの成長を感じ、おとなの健診で病気を未然に防ぐなど、様々な場面でやりがいを感じることでできる魅力ある仕事だと思います。私の名前を覚えて下さり、感謝の言葉をもらう度にこの仕事を選んでよかったと感じます。分からないことや悩むことも度々ありますが、そんな時には頼もしくて優しい先輩方に相談することができます。一緒に保健師として働き、やりがいを感じてみませんか？

プライベートの一部を紹介

私は外に出かけることが好きです。中でも最近はバスケットボールの試合観戦にハマっています。休みの見通しがつきやすいので、スケジュールが立てやすい職場です。



1日のスケジュール

8:30 朝礼・業務開始	13:00 乳幼児健診従事
9:00 事務作業	15:30 電話相談
10:00 居宅訪問	16:00 事務作業・業務確認
11:30 訪問記録の整理	17:15 終業
12:00 昼食・休憩	

社会福祉士

地域包括支援センター 主査 Y・A(平成28年度入職)



仕事内容、やりがい

地域包括支援センターでは、高齢者のみなさんが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、様々な相談を受け、関係機関と連携して必要な支援を行っています。また、元気なうちから介護予防等に取り組んでもらうための教室や講演会など、様々な事業を企画・実施しています。地域を支えている高齢者が元気に活躍している姿を見ると、やりがいを感じることができます。

メッセージ

市役所では様々な事情を抱えた方と接することが多く、社会福祉士としても成長できる職場だと思います。困難なケースもありますが、同僚にも他部署にも社会福祉士がいるため、困ったときは相談して一緒に対応することもできます。みなさんと一緒に働けるのを楽しみにしています。

プライベートの一部を紹介

職員共済会主催の尾瀬ヶ原ハイキングツアーに職場の同僚と参加しました。大自然の中、楽しくハイキングをして心身ともにリフレッシュできました。



1日のスケジュール

8:30 朝礼・メールチェック	13:00 電話・窓口対応
9:00 電話・窓口対応・事務作業	15:00 個別の市民相談
10:00 介護予防教室	16:00 相談記録事務
12:00 昼食・休憩	17:15 終業

若手職員座談会

令和6年度入職(入職1年目)の職員5人に、伊勢崎市役所を

目指した理由や入職して良かったことなどを **ホンネ** で聞いてみました!

-なぜ公務員になりたいと思ったのかを教えてください-

職員E: 市役所とか公務員がどういう仕事をしているかって意外と想像しにくい部分があるかと思うんですが、その理由の一つに、当たり前今までの生活が担保されていることや、市民サービスが受けられているところにあるのかなと思います。そういう当たり前だけじゃなくてはならない、縁の下の力持ち的な部分に惹かれて、私も公務員として市に貢献したいと思ったのがきっかけです。



職員B: やばいな(笑) 面接用じゃない?

職員E: え、違います違います(笑)本心です!

職員B: 自分もいいですか?

自分は大学の時に、これからずっと40年間とか仕事するとしたら何がしたいのかなって考えた時に、パッとこれだというのが決まらなくて、「あれもこれもやりたいんだな、自分は」って思ったんです。



兄も公務員だったのでちょっと聞いてみたら、3~5年とかで、部が変わったり課が変わったりの人事異動があるっていうので、本当にまるっきり違う職場に行くようなものっていうのを聞いて、あ、市役所だったら色々な事が経験できるんだ!っていうのが理由の一つです。

職員D: 私は民間企業で働いていて転職してきたんですが、民間の立場で

「困っている人を助ける」ことに限界を感じた部分もあり、公的な視点から市民の方の助けになりたいと思ったのが転職の大きな理由ですね。



-数多くの自治体の中で、伊勢崎市を選んだ理由は-

職員B: 自分はいろいろな民間企業や自治体の面接を受けさせてもらったんですけど、個人的には一番伊勢崎市が面接の中で「自分をしっかり見てくれるな」っていう感じが伝わってきて、そういう点で選びました。

全員: 一緒です。一緒一緒。

職員B: なんか話に乗ってきてない?ほんとに?(笑)

インタビューア: 違った理由の人はいますか?

職員C: 私は伊勢崎市が出身なので、他の自治体のこととは考えてなくて、地元だから伊勢崎市一本!っていう感じでした。

インタビューア: なるほど。地元で貢献したいっていう気持ちは大切ですね。先ほど、面接の雰囲気が良かった、という話が出ましたが、どんな感じでしたか?

職員D: 「頑張ってください」って言われました(笑)

職員C: 積極的に話しかけてくれたり、トイレとか案内してくれたりしました。親切になって。

職員A: 自分は中途枠での採用だったんですが、いい意味での堅さっていうのはすごい感じました。

こちらが質問に答えると、その回答に対する質問がまたきて、また回答すると質問が来て、と、自分が今まで受けた面接の中でもすごい人を良く見てくれるんだな、と思いました。



職員B: 面接や控室でも、アンケートとかこちらの話をいろいろと聞いてくれて、今まで通りではなくどんどん意見を取り入れて良いものにしていこう、変えていこうっていう姿勢がすごい感じられて、とても魅力的に感じました。

-入職前に不安に感じていたことはありますか-

職員C: 私も民間企業から転職して入職したのですが、全く違う環境になるので、自分が役に立ってるのかなっていう不安もありましたし、あとは人間関係的な不安もありました。

職場での人間関係もそうですが、前職がある分、同期よりも年齢が上になるので、いい関係が築けたらいいな、という不安はありましたね。



職員D: 私は職場というか家庭面なんですけど、子どもがいるので生活のリズムが変わって自分がそれについていけるのか、という不安はありました。

あとはやはり自分が前職で得た経験が活かせるのか、ちゃんと仕事についていけるのか、という不安がありました。

-実際に入職してみて、良かったなと感じる場所は-

職員E: 実際、公務員ってお堅いのかっていう印象で入職したんですけど、全然堅くなくて、分からないことがあれば当然のように教えてくれるし、初めて他の課に行くときとかも先輩と一緒に付いてきてくれて、話しやすいようにしてくれるとか、そういう職員間の雰囲気はすごい良いなと思います。

全員: 仕事を楽しいですよね。楽しんじゃってる。

職員B: 先ほど堅いイメージっていう話が出たけど、入職前は慣例主義というか、新しいものはあまり入ってこないイメージだったんですが、伊勢崎市だけなのはわかりませんがどんどん新しいものを取り入れようっていう雰囲気があって、すごい働きやすさは感じますね。

-入職してから苦労したことはありますか-

職員C: 私は個人情報扱う怖さ、をすごく痛感しまして、郵便物を市民の方に送るときに、心配で「本当に間違えてないよな」という確認を何度もしてしまうプレッシャーのようなものはありました。

職員E: 私は市外出身なので、伊勢崎市の合併前の地区名や、現在の町名や市の施設の位置などを覚えることに苦労しました。自分の力不足を痛感したので、入職前にもっと調べて覚えておけばよかった、と思いましたね。

-同期の仲はどうですか-

職員C: すごい仲良いと思います!周りの人からも良く言われますし、業務中でも廊下ですれ違ったりすると嬉しいです。遠くにいても、あ、いる!って(笑)

インタビューア: 新卒から見て年上の同期の印象は?

職員B: 一番最初は年上だから敬語で話さなきゃ、って身構えていたんですが、タメ口でいいよって言ってきて、仲良くしてくれるけど引っ張ってくれる面もあって、頼りになる存在です。

インタビューア: 転職された人から見て年下の同期の印象はどうですか?

職員A: 新鮮ですね。新しい価値観というか、考え方も全然違うので、勉強になるなって。

新卒組: 絶対なにか思ってそう... (笑)

職員C: でも同期が一生懸命仕事をしている姿を見ると、私も頑張らなきゃって思うので、本当にその辺は年齢とか関係なく励まし合える関係かなと思います。

-伊勢崎市の公務員を目指す人に、メッセージをお願いします-

伊勢崎市で一緒に働きましょう!!
待ってま〜〜す!!



座談会の様子は動画で配信中
詳しくはこちらをご覧ください。

